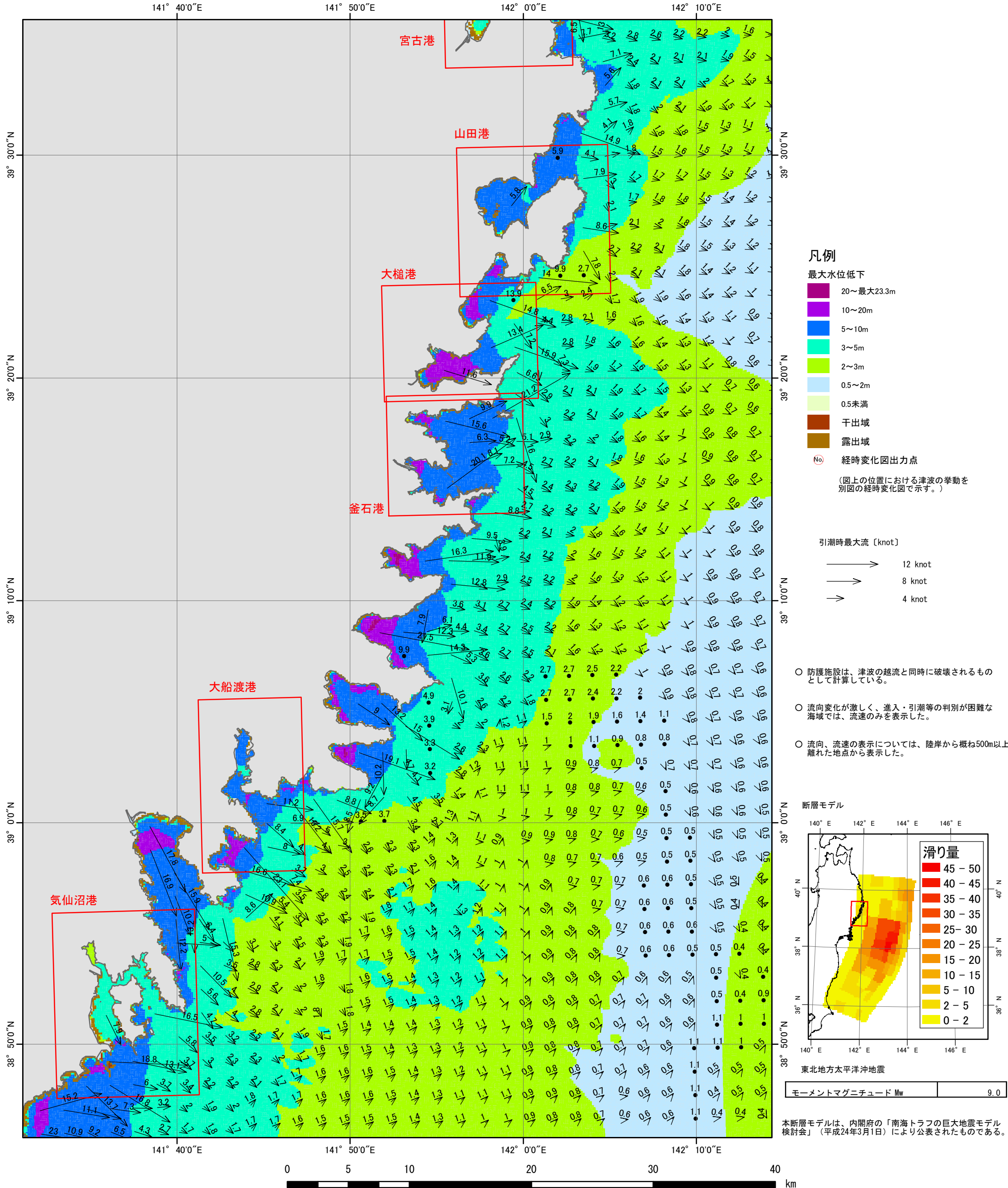




座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最低水面 (零位)
隆起量： 平均 -1.49m(-2.63m ~ -0.46m)
Zo： 0.86m
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例

最大水位低下

- 20~最大23.3m
- 10~20m
- 5~10m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

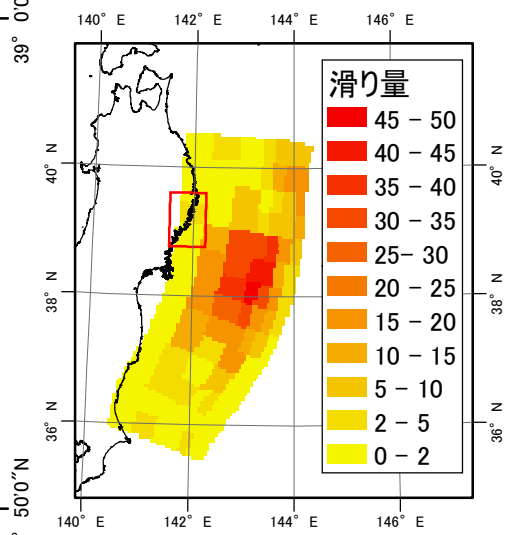
- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。

断面モデル



東北地方太平洋沖地震

モーメントマグニチュード Mw 9.0

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(平成24年3月1日)により公表されたものである。